

ハクサンクロナガオサムシ コウチュウ目オサムシ科

Leptocarabus arboreus hakusanus (Nakane)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

クロナガオサムシの白山亜種で、白山の亜高山、高山帯にのみ分布する。

形態

体長は19~24mmである。体色は黒く、体形は細長い。

国内分布

本県と福井県の白山山系の高地にのみ分布する。

県内分布

白山山系の釈迦林道上部、お花松原、南竜馬場、室堂など標高1,700m以上の高地に分布する。

生態

成虫の出現期は7月から9月までである。他のオサムシと同様、昼間は石の下などにおいて、夜間に採餌行動をとるようである。

生息地の条件

亜高山帯、高山帯で草度が少なく、岩石がごろがっているような所に多く生息する。

生存の危機

登山道整備等の工事や登山者の増加による露岩地への踏み込みは生息環境の悪化につながる。(A)

特記事項

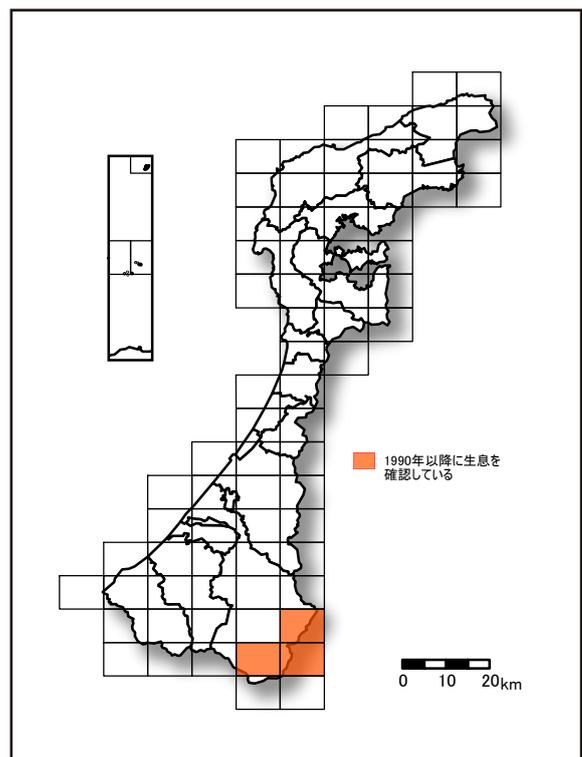
生息地は白山国立公園の特別保護地区内である。

参考文献

Nakane, T. 1961. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XV. *Fragmenta Coleopt.*, (1): 1-5.
中根猛彦 1962. 日本昆虫分類図説 第2集 第3部: 59.



写真提供者: 富沢章



県内の分布